



JR東労組 (東日本旅客鉄道労働組合)
 東京都渋谷区代々木2丁目2番6号
 JR新宿ビル13F 〒151-8512
 電話 03-3375-5740(代)
 2019年5月8日 発行人 山口浩治 編集人 湯ノ目亜矢子
 第697号 月1回発行/一部20円
 (組合員の購読料は、組合費に含む)



JR東労組ホームページは
 ←こちらからアクセス
<http://www.jreu.or.jp/>

第38回定期大会

日時：2019年6月13日(木)
 10:00~18:00

場所：さいたま市民会館うらわ
成功に向けて
仲間と共に職場実践を
積み上げよう!

4月1日 新幹線統括本部 発足

安心して働ける職場を仲間と共につくり出そう

新幹線協議会結成に向けて 準備委員会を開催!!

1982年の東北・上越新幹線開業から37年、JR東日本発足から32年が経過する中で、新幹線に関する抜本的な見直しとして「新幹線統括本部」が4月1日に発足しました。職場の仲間からは「今後の支社との仕事の仕切りや自分の担務が明確になっていない」「業務管理規程が未だに制定されていない」などの声が出され、組織再編に向けた準備や議論が不十分であったと言わざるを得ない状況で、解決すべき課題は山積んでいます。そのため仲間と共に安全で働きがいのある職場をつくり出すために準備委員会の議論を積み重ねて、新幹線協議会結成に向けて奮闘していきます。

本部—新幹線統括本部

36協定締結!!

「安全・健康・ゆとり・働きがい」を持てる職場をつくり、36協定違反と労働基準法違反の撲滅に向けて、仲間の切実な声や職場実態をもとに4月17日に精力的に交渉を行いました。そして、4月19日に201

9年5月1日〜2020年4月30日の1年間で締結しました。

交渉の議論において、代表締結の2事業所(盛岡新幹線運輸区、上野新幹線第二運転所)では、①2018年4月〜12月の期

間に36協定違反・限度時間延長は発生していません。②引き続き適正な労働時間管理を行うこと、③36協定違反等が発生した際には労使協議で解決することを確認しています。

青年部・系統別意見交換会

職場で発生している問題と施策に向き合い
安全で働きがいある職場を仲間と共につくり出そう!

3月30日に工務職場、4月7日に検修職場の意見交換会を開催しました。両日とも多くの青年部員が集まり、活発な議論が行われました。

19春闘における青年部の声

19春闘では、18春闘の「大敗北」総括に踏まえて、これまでの経過と受給後の感想や職場の声を話し合いました。参加者から「昨年よりもベア額が高く、定期昇給を勝ち取ったことは成果だ」「中央本部が発出した見解を読んで仲間と議論し、ベアを勝ち取れたのは大きい」との声が出ている。「組織力が大きく低下する中でも、JR東労組が仲間の切実な声や想いを基礎に団体交渉を行ったからこそ、ベアを勝ち取ることができた」と、率直な声が出されました。18春闘において行ってきた団体交渉の議論過程や問題点を深めて明確にすることで、職場の仲間と共に19春闘の議論や実践に繋げてきたことを確認しました。

会社施策の議論を深め 組織強化・拡大を実現

現在、工務・検修職場では様々な問題が発生しています。工務職場では「保線部門におけるメンテナンス体制の最適化」「電気部門の変革2022」、検修職場では「グループ会社と一体となった業務体制の更なる推進」「在来線におけるモニタリング保全体系への移行」などの施策が実施されることで、仕事の仕組みや職場が変わりつつあります。そのような中で、安心して働ける職場をつくり出すために仲間たちは奮闘しています。職場では会社施策の議論を通じて、離脱を余儀なくされた仲間との信頼関係を再構築し、再加入を決議してくれた仲間たちがいます。若手ならではのレクやサークル活動を通じて、青年部員や職場の仲間から「昨年は、様々な問題があったが、仲間と盛り上げられたことは、やっぱり楽しい」との声も出されました。

系統別意見交換会を通じて 安全で働きがいのある職場をつくり出そう!

各種施策が実施されたことよって生じている問題、超勤増加に伴う問題や新たに新設された「新幹線統括本部」に関する問題など、職場で発生している様々な問題を議論してきました。



多くの仲間が脱退・離脱した現実にかきと向き合い、系統別意見交換会を通じて、安全で働きがいのある職場を自分たちでつくり出すと共に、組織強化・拡大に繋げていきます。



桜田義孝 大臣が辞任した。失言を繰り返す行い、政治家として誰に選ばれて、誰のために任務を全うするのかが感じられなくなる。このことは、守るべき国民の立場に立っていないことが明白な事実であり、言葉には責任があるということだ▼一生懸命話をしてもなかなかうまく伝わらないことがある。聞いていても何が言いたいのかわからないこともある。一生懸命話した結果、すべてを伝えられたかといえ、うまく伝えることが出来ず後で後悔することもある。そしてどこまで理解してくれたのだろうか▼個人主義が多く見受けられる時代の中で、今まで以上に様々な考えが生まれ、言葉一つで相手によって様々な受け止め方ができてしまう。時には傷つき、怒りを買い、優しい言葉で涙する。しかし、自分が相手だったらどう思うのかというのを考えながら話すことで、分り合えることにつながる。さらには、その人の人柄も伝わっていくのではないかと思う▼これまで、相手への伝え方について、悩み苦しんだからこそ、相手の立場に立つ重要性を学ぶことができた。言葉には発した人の責任だけがなく、思いが込められているからこそ、重みがあるということである。(K・H)